

(第3種郵便物認可)

センアーノ神戸ーバンディオンセ神戸 前半、センアーノ神戸の宮沢(9)がシュートを決め、3-0とリードを広げる



# センアーノ神戸 5得点

センアーノ神戸は持ち味の攻撃力がさく裂し、5得点。ゴールラッシュで2年ぶりの栄冠を手にし、司令塔のMF田村は「楽しかった」と笑顔を見せた。

スピードで圧倒した。開始早々、FW立岩が「前線からのプレスでミスを狙っていた」と相手のバックパスに詰め寄り、ボールを奪って先制シュート。数分後には再び俊足の立岩が守備の裏に抜け出し、折り返したボールを吉田が蹴り込んだ。

## スピードで圧倒 2年ぶり戴冠

その後もドリブルで敵陣を切り裂き、ゴールを重ねた。小菊監督は「ドリブルなどの個々の技術を高める練習をやってきた成果」と手応えを示した。

チーム発足当初は決定力不足で、県(U-15)トップリーグは4位にとどまった。選手たちはゴールを狙う意識を高め、今大会で本領を発揮した。関西大会出場権を手にし、芝本主将は「強豪相手でもドリブルを積極的に仕掛けたい」と意気込んでいた。

(伊藤大介)

### サッカー

県中学生選手権

サッカーの兵庫県中学生(U-15)選手権(神戸新聞社後援)最終日は

▽3位決定戦 エベイユFC 1-0 エストレラ姫路  
▽決勝  
センアーノ神戸 5(4-0)0 バンディオンセ神戸

2日、三木総合防災公園陸上競技場で3位決定戦と決勝があり、決勝はセンアーノ神戸が5-0でバンディオンセ神戸を下し、2年ぶり2度目の優勝を飾った。  
センアーノ神戸は前半に4ゴールと圧倒し、後半にも1点を加えて突き放した。  
3位決定戦はエベイユ

FCがエストレラ姫路に1-0で勝った。今大会の1-3位と、兵庫県U-15トップリーグ1-3位のプレスカ神戸、イルソレ小野、伊丹FCの計6チームは、全日本ユース(U-15)選手権関西大会(8日開幕・奈良フットボールセンターほか)に兵庫県代表として出場する。

### パスつなげず

バンディオンセ神戸

保拓実主将(準優勝に)スピードの差を感じた。体のぶつかり合いでは負けるので、パスをつないで崩そうと思ったが、うまくつなぐことができなかつた。この悔しさを関西大会にぶつけた

### 兵庫2連勝

スラックボール

NBL

第11日(2日・ノリツアリーナ和歌山ほか)6試合 兵庫ストークスは72-65で和歌山を下して2連勝。通算3勝5敗とし、西カンファレンス